

今後の子育て支援拠点等のあり方について 子ども未来まちづくり審議会 が市長に答申

「今後の子育て支援拠点等のあり方」について、
以下の通り、子ども未来まちづくり審議会から市長に答申されます。

【 答申の日時・場所 】

- ・日 時 令和3年10月22日(金)午後1時15分～1時30分
- ・場 所 京丹後市役所2階 市長応接室
- ・出席者 子ども未来まちづくり審議会 片西会長 / 味田副会長

◆諮問の背景

「第2期京丹後市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり実施しました子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査では、「天候に関係なく遊ぶことができる屋内施設がほしい」、「交流の場の提供を」といった意見が多くありました。また、昨年度より実施しています“はは笑みプロジェクト事業 子ども未来まちづくりWeb懇談会”でも同様の意見を聞かせていただきました。このようなことから、「今後の子育て支援拠点等のあり方について」、中山市長から当審議会に対して諮問されたものです。

◆審議会の概要

子ども未来まちづくり審議会は、10名の委員で構成されており、教育、福祉、子育て支援事業関係者、事業主・非営利団体関係者、保護者、学識経験者など各界、各分野を代表する委員の皆さまにより、子育て環境を更に充実させる観点から、子育て支援拠点の必要性等について、活発に議論されました。

審議会では、子育て支援が更に充実し「子育て環境日本一のまち」を実感していただけるよう、子育て支援拠点の必要性や、拠点施設に備えるべき機能など、次のことについて、答申されるものです。

【 答申の内容 】

・子育て支援拠点等のあり方について

◆答申の概要

(1)子育て支援拠点の必要性

少子化や核家族化が進行する中であって、身近な地域での子育て支援機能のみならず、天候や曜日になるべく左右されることなく、様々な人と交流しながら遊ぶことができ、子育てに関する相談等も可能な子育て支援拠点のニーズ及び必要性は高く、あらゆる市域から利用しやすい市の中心地に整備されることが望まれます。

(2)子育て支援拠点の機能

この施設に備えるべき機能については、幅広い年代の子どもや親子などが遊べるスペースを中心としながら、子育てに関する相談窓口やカフェを併設するなど、付加価値を加えることが望まれるとの意見がありました。

また、子育て世代等、利用者の利便性や整備効果を高めることを考慮した場合、図書館や商業施設など、他の機能との「複合型施設」とすることにも留意すべきと考えられます。

(3)その他

子育て支援拠点は、できれば早急な整備を望むものですが、整備には一定の年月を要するものであり、現在の子育て世帯への早急な支援も望まれることから、当面の対応として、市の中心部に、既存施設を活用した代替機能(子育て支援センターなど)が必要と考えられます。

一方で、身近な地域での子育てサロンや公民館等の役割も重要との意見も多くあり、現在進められている「新たな地域コミュニティ」の中に子育て支援機能を位置付けることも含め、地域で子どもを見守り、地域全体で子育てを支援していく必要性も改めて再認識したところ です。

◆京丹後市子ども未来まちづくり審議会委員名簿

条例規定	役職	氏名	審議会役職
6号	元指導主事、元小学校長	片西 登	会長
3号	NPO法人エコネット丹後事務局長	味田 佳子	副会長
1号	民生児童委員協議会 主任児童委員代表	田中 道夫	委員
1号	(社)みねやま福祉会 峰山乳児院職員	福木 和子	委員
2号	NPO法人丹後の自閉症児を育てる会	岩淵 祐子	委員
3号	商工会青年部副部長	谷口 輝	委員
3号	京都北都信用金庫 監査部長	田崎 仁志	委員
4号	元保育所長、網野北放課後子ども教室実行委員会代表	浜上 玉恵	委員
5号	前大宮こども園保護者会会長	野木 教貴	委員
6号	元教育委員会理事兼子ども未来課長	中村 八寿子	委員

◆審議経過

開催日	内容
令和3年6月29日（火）	第1回審議会 1.子育て支援拠点等について 2.子ども・子育て支援事業について
令和3年8月24日（火）	第2回審議会 1.子育て支援拠点等について
令和3年9月30日（木）	第3回審議会 1.子育て支援拠点等について 2.特定教育・保育施設利用定員について